

地域との共生

秋田大学社会貢献推進機構

活動報告

(平成18～19年度)



子ども見学デーにて学長室での記念撮影



はじめに	1
秋田大学社会貢献推進機構の目的	2
2年間の活動実績	
平成18年度の主な活動	3
1. 公開講座	
2. サテライト事業	
3. 学習コンテンツ流通促進事業	
4. 専門職セミナー	
5. 講演会	
6. その他の活動	
平成19年度の主な活動	11
1. 公開講座	
2. サテライト事業	
3. 秋田メディカル・サイエンスカフェ	
4. 講演会	
5. その他の活動	
終わりに	21
参考資料	
平成18年度社会貢献事業の実施状況一覧	22
平成19年度社会貢献事業の実施状況一覧	23
社会貢献企画会議委員	24
公開講座ポスター	25
アンケート集計結果	29

はじめに

社会貢献推進機構のこの2年間（18年度・19年度）の活動をまとめた。この「まとめ」によってこの時期の活動を正確に記録として残し、反省の材料や今後の展開の基礎として利用したいと思う。

平成16年4月、秋田大学は法人化した。それまでは大学の使命が教育と研究とされていたが、それ以後は教育と研究に「社会貢献」が加わった。そこで、目的達成のため社会貢献推進機構を設置した。目的は次のページにあるように、秋田大学の人的、物的資源を動員・活用し、社会との連携や社会への貢献を一層推進することである。その目指す所は、社会の文化・科学・経済が円滑に循環するように、秋田大学の学習資源を有効に活用、提供するとともに、秋田大学が有する知識・技術などの資源を継承、発展、還流させて、社会の要求と調和を図りながら地域の振興と創造に貢献することである。

社会貢献推進機構は、16年度及び17年度に吉岡尚文前機構長のもとに様々な活動を開始し成果を挙げており、18年度及び19年度にはそれらの活動を継承し発展させた。本冊子ではそれらの事業を18年度と19年度に分けてそれぞれまとめている。

以前の2年間に比して、特筆すべき事業としては、18年度の学習コンテンツ流通促進事業における「インターネット公開講座－エル・ネット－」、19年9月の「秋田大学芸術祭」、同年12月の「学長企画シンポジウム－環境と共生－」がある。

エル・ネットはHPで動画配信をしており、芸術祭では本学教員のプロフェッショナルな活動が市民に公開された。「学長企画シンポジウム」においては本学の基本的目標である「環境と共生」をテーマに、熊本学園大学の原田正純教授（水俣学の提唱者）、南極越冬隊経験者、学内研究者からの発表があり充実したものとなった。その他にも、男鹿水族館「GAO」との共同事業（秋田大学 GAO キャンパス）では、秋田大学の南北両極地に関する研究・調査をパネル展示や講演によって発表した。また、東京サテライトオフィスにおける教養セミナーでは、本学の教員が自らの研究内容をやさしく市民に講じた。

これらの事業は、すべて本学他部局の協力と社会貢献・国際交流課スタッフの献身的な活動の賜であり、深く感謝したい。

この冊子が今後の本学社会貢献活動発展の一助になれば幸甚である。

社会貢献推進機構長 妹尾春樹（副学長）

社会貢献推進機構の目的

社会の文化・科学・経済が円滑に循環するよう、本学の豊富な学習資源を有効に活用、提供すると共に、本学の人材が有する知識・技術などの資源を継承、発展、環流させ、社会のニーズと調和を図りながら地域の振興と創造に貢献する。

上記目的を達成するための目標

1. 地域貢献

(1) 教育活動による貢献

- 1) 小中高生の科学的思考や研究・学習への動機付けを促す。
- 2) 大学での体験学習を積極的に実施する。

(2) 研究活動による貢献

- 1) 医学、医療、保健、福祉等の研究成果を基盤に地域医療の総合的な支援をする。
- 2) 共同研究や受託研究を推進し、地域産業活性化に寄与する。
- 3) 技術相談への対応を充実すると共に、企業等からのニーズを把握し還元する。
- 4) 広報活動を通じて本学の研究活動や大学のシーズ、研究成果を積極的に発信・公表する。
- 5) 学識や高度な技術が求められる国内外の審議会、委員会、調査活動等に協力する。
- 6) 国際機関、国、自治体、民間機関が主催する企画に人材を派遣する。

2. 生涯学習

(1) 教育活動による貢献

- 1) 社会全体の生涯学習が円滑に実施されるよう、生涯学習を推進できる人材を養成する。
- 2) 生涯学習機能を充実させ、社会の要請に応えるカリキュラムや学習技法を編成する。
- 3) 自治体や他大学等と連携し、要請に対応した学習領域を提供する。
- 4) 地域に特化した課題を取上げ、学習者の公共性を養い、協働による社会参加を支援する。
- 5) 図書館や博物館、付属する各種センターを地域の学習、情報の拠点として解放する。

(2) 研究活動による貢献

- 1) 優れた研究実績と研究資源を通じ、学外研究者に継続的な指導を行なう。

2年間の活動実績

平成18年度の主な活動

1. 公開講座

平成18年度は8講座開講した。開講時期が10月・11月に集中してしまったものの、全講座を無事に終えることができた。講座毎に受講者からアンケートをとっており、その結果を交えながら各講座について振り返ってみた。なお、受講者には学長名で修了証書または受講証書を授与した。

(1) 古代の日本音楽—日本音楽のあけぼの—

開講日：平成18年5月17日（水）～6月21日（水）全5回

担当教員：教育文化学部 准教授 武内 恵美子

触れる機会が少ないためかあまり知られていない日本の様々な音楽を歴史的な事象と絡めて取り上げることによって、日本音楽の歴史を広く知り、興味を持ってもらう機会とした。この分野については初めて学ぶ受講者がほとんどであったが、来年度以降も同じテーマでの継続を望む声が多かった。

(2) よりよい健康のために—見つけてみませんか？あなたと家族の生活習慣を—

開講日：平成18年9月23日（土）～10月14日（土）全4回

オムニバス形式、責任教員：医学部 准教授 石川 隆志

どのような生活習慣が健康を維持・増進し、逆に病気や障害をもたらすのかを知り、好ましい生活習慣を身につけるために、健康状態を守り高めるための様々なアドバイスを、保健医療の専門職が講義（一部実習）を通じてわかりやすく伝えた。受講者からは「今後の実生活に活かしたい」等の感想があり、非常に好評であった。

(3) ドラマ映画にみるイスラエルとパレスチナとの問題

開講日：平成18年10月19日（木）～11月16日（木）全5回

担当教員：教育文化学部 准教授 三宅 良美

イスラエル・パレスチナの映画やドラマを、政治・社会・文化的観点から論じ、イスラエル国外ではあまりみる機会のない、例えば結婚や恋愛をテーマにしたドラマから、イスラエル・パレスチナ間の問題、異民族間の問題、聖俗の問題を考える機会とした。

(4) 認知症ってなあに……家族が認知症になったら—医療現場から—

開講日：平成18年10月25日（水）～11月8日（水）全3回

オムニバス形式，責任教員：附属病院 看護師長 佐藤 芳子

認知症を理解し，周囲の関わり方，福祉サービスの利用のしかたを知るために，精神科医・看護師・ケースワーカーが講義した。多くの受講者の受講目的が「仕事・実生活に活かすため」であり，「実際に医療現場で働く講師の話は参考になった」との声が多かった。

(5) 国民統合の象徴としての天皇—天皇制を通して日本の社会と歴史を検証する—

開講日：平成18年10月31日（火）～11月21日（火）全4回

担当教員：教育文化学部 教授 中村 裕，教授 渡部 育子

天皇，天皇制，その論じられ方について，古代・近代それぞれにおける歴史的観点を含めて検証し，それを通して日本社会のあり方を検証した。講義数は4回と少なかつたものの，「もっと詳しく学びたいと思った」「別のテーマでも同じ講師による講義を聴きたい」等の感想があった。

(6) 書—その理論と実技を学ぶ—（その2）

開講日：平成18年11月4日（土）～

12月2日（土）全5回

担当教員：教育文化学部 教授 長沼 雅彦

前年度に引き続き，東洋独自の文化である書を理論と実技を通して理解し，書を表現する楽しさを味わい，書の歴史的な名品や現代作品にふれる機会とした。作品鑑賞や講義だけでなく実技も取り入れたことで，受講者は書に対する理解をより深めていたようだ。また，最終日に行った講師と受講者との交流会も好評であった。



(7) 「異常」気象はなぜ起こる？—金星の雲，火星の氷，地球の海の謎—

開講日：平成18年11月28日（火）～

12月19日（火）全4回

担当教員：工学資源学部 助教 秋山 演亮

前年度のアンケートで要望が多かった地球科学についての講座を開講した。講義では簡単な実験を取り入れ，また，最新のデータや映像等を紹介し，



金星や火星の探査を通じてわかってきた地球の気候変動の仕組みと、地球の海が気候に与える影響について分かりやすく解説した。

(8) 自殺予防への積極的アプローチ

開講日：平成19年1月18日（木）～2月8日（木）全4回

オムニバス形式，責任教員：医学部 教授 吉岡 尚文

前年度に引き続き，自殺予防をテーマとした講座を開講した。秋田県における自殺予防活動の実情や自殺対策基本法についての講義，「うつの人に対する接し方」のロールプレイ，一般市民が出来る自殺予防活動を学ぶグループワークなど，テーマは多岐にわたり，実際に自殺予防活動に取り組む受講者からは「実践に活かすことができた」との感想があった。

2. サテライト事業

県内各地において自治体との連携を図り，秋田大学の教育・研究の一端を紹介することにより，地域社会へ貢献することを目的とし，県南の湯沢市・横手市増田町，県北の能代市でそれぞれ子ども向け理科教室や公開講座，講演会等を開催した。

(1) 秋田大学ウィーク in 県南

期間：平成19年2月17日（土）～20日（火）4日間

1) 小・中学生ものづくり教室 「捨てられた金属からお宝を作ろう」

工学資源学部 麻生 節夫 教授研究室

2) 市民フォーラム

i) 特別講演「環境の変化と動物ーホッキョクグマとマンモスの研究からー」

講師：理事・副学長 妹尾 春樹

ii) 秋田大学関係者と市民との懇談会

学長・理事・各学部長

3) 講演会「法医学の必要性」

講師：医学部教授 吉岡 尚文

4) 科学技術相談

担当教員：地域共同研究センター

助教授 鎌田 真一

5) パネル展示

6) 公開講座「秋田からの健康発信ー突然死予防を目指してー」

講師：医学部教授 吉岡 尚文



(2) 秋田大学出張アカデミーin 能代

期間：平成19年3月2日（金）・3日（土）2日間

1) 公開講座「秋田からの健康発信－突然死予防を目指して－」

講師：医学部教授 吉岡 尚文

2) 講演会「環境の変化と動物－ホッキョクグマとマンモスの研究から－」

講師：理事・副学長 妹尾 春樹

3) 理科実験教室「大空のふしぎ－発見しよう，工作しよう，観察しよう－」

担当教員：教育文化学部技術専門職員 毛利 春治



3. 学習コンテンツ流通促進事業

秋田大学では、文部科学省の「地域における教育情報発信・活用促進事業」平成18年度学習コンテンツ流通促進事業に「秋田から地球を観察する」「秋田からの健康発信」の2つの講座を申請し、採択された。本事業では、秋田県が所有する、固有の有形・無形の財産でありながら全国にも共通する情報を県内外へ積極的に発信し、知の共有と地域の活性化を図るために学習コンテンツを制作し、「エル・ネット」により放送した。

「エル・ネット」は、衛星を利用して教育、科学技術・学術、スポーツ、文化に関する情報を全国に直接発信する文部科学省の教育情報衛星通信ネットワークである。

また、制作した学習コンテンツをインターネットで発信するとともに、それを活用した公開講座を行った。

(1) 学習コンテンツ流通促進事業「地域からの発信」

- ・ 秋田から地球を観察する－南極大陸との関わり－
- ・ 秋田から地球を観察する－地下水は大丈夫か－
- ・ 秋田から地球を観察する－黒鉱が語るもの－
- ・ 秋田から地球を観察する－秋田の油田物語－
- ・ 秋田からの健康発信－心の処方と地域の和－
- ・ 秋田からの健康発信－脳卒中から身をまもる－
- ・ 秋田からの健康発信－突然死予防を目指して－



(2) 学習コンテンツ活用講座

1) 公開講座「秋田から地球を観察するー南極大陸との関わりー」

開講日：平成19年3月5日（月）

講師：教育文化学部教授 井上 正鉄

2) 公開講座「秋田からの健康発信ー突然死予防を目指してー」

開講日：平成19年2月20日（火）

講師：医学部教授 吉岡 尚文

※「秋田大学ウィーク in 県南」事業の一環として開催した。

(3) インターネット公開講座

制作した全コンテンツを、社会貢献推進機構ホームページ上で公開した。

掲載 HP の URL :

<http://www.pcix.akita-u.ac.jp/syakai/ja/internet/>



4. 専門職セミナー

実施日：平成18年9月8日（金）・9日（土）

大学、高等専門学校在学時に、材料工学またはその関連分野を専攻したが、改めて材料工学分野の内容を再学習したいと考えている人、最新の材料工学分野の発展について学習したいと考えている人を対象に材料工学セミナーを開設した。

5. 講演会「シルクロード石窟寺院芸術への誘い」

実施日：平成18年12月16日（土）

中国甘肅省・秋田県との連携事業として、中国甘肅省文物考古研究所保護部主任 趙呉成氏が、中国有数の石窟集中分布地域である、シルクロード上に位置する河西回廊石窟寺院芸術について講演した。聴講者は、シルクロードの出発点「西安」を皮切りに眼前に繰り広げられるシルクロード石窟寺院の数々の画像に目を見張った。

6. その他の活動

(1) 秋田大学子ども見学デーー伸ばそう探求心！大学ってどんなところ？ー

実施日：平成18年8月21日（月）

親子のふれあいを深め、子どもたちの夏休みを広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、大学に対する関心を深めてもらうため、前年度に引き続き秋田大学施設の見学及びコース別体験を実施した。当日は鉱業博物館の見学後、6つ

のコースに分かれて研究室や図書館の見学、英語の授業や天体望遠鏡を使った観察などを行った。子どもたちにとっては初めての体験ばかりで、どのコースの参加者からも「楽しかった」「勉強になった」との感想があった。

(2) 小中学生の本学訪問への対応

平成18年 5月12日(金) 能代市立東雲中学校

平成18年 6月16日(金) 岩手県立盛岡第二高等学校 PTA 研修

平成18年 7月20日(木) 美郷町立仙南中学校

平成18年10月20日(金) 秋田市立桜中学校

平成18年11月 9日(木) 秋田市立城東中学校

秋田県内小中学校の児童・生徒が総合学習の一環として、秋田大学を訪問することが数年前から実施されている。平成18年度は4つの小中学校からの児童・生徒の大学訪問を受け入れ、質問等に答えながら事務職員が学内を案内し子供たちのニーズに対応した。

(3) 子ども向け体験学習や実験教室等

工学資源学部の教員が、子ども向けの体験学習や実験教室を実施した。

1) 子ども科学教室「おもしろサイエンス—物質あるある探検隊」

実施日：平成18年11月12日(日)

担当教員：工学資源学部 教授 中田 真一

実験を通してサイエンスの基本である「物質」を理解し、環境・エネルギーを大切にすることを涵養するため、小学生を対象に「ミラクルシャボン玉」「空中に浮く磁石」等の科学教室を行った。

2) 創造探求型工作教室「第3回ジャンクヤードバトル」

実施日：平成19年2月24日(土)

担当教員：工学資源学部 教授 神谷 修

様々な問題に挑戦し、解決できる創造力と、まだ使える部品を有効利用するリサイクルの精神、そしてエネルギーや環境問題を考える力を育成するため、中学生を対象に開催した。参加した中学生はチームに分かれ、段ボールや針金などの材料から、スチール缶とアルミ缶を簡単に分別できる装置を大学生と一緒に制作し、その性能を競った。



3) 体験学習教室「作ってトライ！物理探査」

実施日：平成19年3月24日（土）

担当教員：工学資源学部 教授 西谷 忠師

小学校高学年・中学生が、電子部品を専用プリント基板にハンダ付けして手
作りした簡易金属探知器で、簡単な「物理探査」を体験した。

(4) 2006年度鉱業博物館前期・後期企画展

前期企画展「石の記憶—ヒロシマ・ナガサキ」（開催期間：平成18年7月8日
（土）～8月20日（日））では、東京大学総合研究博物館が所蔵する、渡辺武男
東京大学・秋田大学名誉教授が広島・長崎を調査する中で収集した被爆資料や数
多くの写真に加え、鉱業博物館が所蔵する渡辺氏が遺した当時の調査状況を記し
た野帳の一部のコピーも展示した。また、それら試・資料に内包された意味や情
報を、インスタレーションを用いることにより、研究者のあくなきチャレンジへ
のダイナミズムを明らかにする実験展示を行った。

後期企画展「秋田の活断層と地震災害」（開催期間：平成18年10月1日（日）
～11月30日（木））では、秋田県で1997年から8年間にわたって行われた、
予想される最大地震規模が大きい県内3断層（横手盆地東縁断層，能代衡上断層，
北由利断層）の精査・活動性評価の成果を公開するとともに、地震や活断層に関す
る研究，秋田で発生した過去の地震災害について紹介した。

(5) 秋田大学自殺予防研究プロジェクト・ワークショップ

実施日：平成18年7月15日（土）

秋田県が実施予定の自殺予防キャンペーンに合わせて、秋田大学では秋田大学自
殺予防研究プロジェクトの活動の一環として、自殺予防に関する学術的なワークシ
ョップを開催した。

(6) 日本南極観測50周年記念事業

開催期間：平成18年11月23日（木）～26日（日）4日間

南極探検の先駆者白瀬臺中尉（にかほ市金浦生まれ）の偉業を伝えるとともに、
秋田から白瀬中尉を範とする有為な人材が将来にわたってひとりでも多く南極に
目を向けて翔いてくれることを願って、50周年記念行事を企画した。秋田駅東口
に隣接する秋田拠点センター「ALVE」での企画展示、秋田大学での特別講演会等
を行った。

(7) 第41回秋田県小・中・高等学校児童生徒理科研究発表大会(後援)

実施日：平成18年11月18日(土)

小・中・高等学校の児童・生徒が理科にかかわる研究成果について発表する機会を提供し、自主的な研究活動の拡大を図る目的で秋田大学を会場として開催された。

平成19年度の主な活動

1. 公開講座

平成19年度は7講座開講した。教養を高めるためだけでなく、実生活や仕事に活かすことを目的にしている受講者も多く、特に自殺予防に関する講座では県や市町村の関係者が多く受講した。平成19年度からは、「大学コンソーシアムあきた」のホームページ上にも講座情報を掲載し、受講者の募集を行った。受講者からのアンケート結果を交えながら各講座について振り返ってみた。

(1) 子どものいる世界を知る心理学

開講期間：平成19年5月9日（水）～6月20日（水）全7回
オムニバス形式，責任教員：教育文化学部 准教授 中野 良樹

子どものいる世界への理解を，心理学の諸領域から深める目的で開講した。7人の講師がオムニバス形式で毎回異なるテーマで講義を進めた。受講者の多くは子どもに関わる仕事をしており，講師もそれに合わせてより実践的な内容の講義を行った。質疑応答の時間も長くとり，受講者からは講義の内容や具体的な事例等について多くの質問が出され，受講者間の情報交換の場ともなった。



また，講座終了後には各講師の講義内容をまとめた冊子も作成された。

(2) 中世の日本音楽—秘すれば花—

平成19年5月29日（火）～7月3日（火）全6回
担当教員：教育文化学部 准教授 武内 恵美子

前年度の古代日本の音楽に引き続き，今年度は中世日本の音楽をテーマに開講した。日本音楽の歴史を深く掘り下げ，また講義だけでなく，普段なかなか触れる機会のない日本音楽をDVD・CDによって紹介し，講師により日本古来の楽器の演奏も披露された。受講者は講義終了後も熱心に質問をし，自宅での学習の進め方などの助言を受けていた。

(3) 格差社会における共生の意義を考える

平成19年7月9日（月）～7月30日（月）全3回
担当教員：教育文化学部 教授 渡部 育子、准教授 島澤 諭

近年顕著になってきている格差問題について、その実態及び是正する方法を歴史学と経済学の視座から分析し、共生へのみちを探る機会とした。歴史学の視点では古代日本国家における格差を、また、経済学の視点では現在の日本及び秋田県における格差の現状を取り上げた。受講者からは「難しいと思った内容がとても分かりやすく楽しい講義だった」との感想があった。

(4) 不思議な数、円周率 π

平成19年8月23日(木)～9月13日(木) 全4回

オムニバス形式、責任教員：工学資源学部 准教授 小林 真人

数学分野の中から円周率 π に焦点を絞り、その性質、歴史、 π を利用した計算等について講義した。難しいと敬遠されがちな数学であるが、本講座では、針金と定規を使って、どんなかたちの円でも直径と円周には一定の比が存在することを受講者自身が確かめたり、歴史の話では、秋田県のとんぼ屋が登場したりするなど、円周率 π を身近なものとして捉えるための工夫がなされていた。なお、本講座には社会人のみならず、高校生・大学生の参加があった。

(5) 再認識！身近な健康

平成19年9月22日(土)～10月13日(土) 全4回

オムニバス形式、責任教員：医学部 准教授 佐々木 誠

認知症やメタボリック・シンドローム、脳年齢等、身近な健康をテーマに、保健医療の専門職が講義(一部実習)を通じて、自らの健康を再認識するための知識や材料を提供した。積極的に受講者から意見を聞く双方向的な講義が多く、また、最終日の転倒予防体操の実習では、受講者同士の交流も図られた。充実した講義内容から、「もっと深く学びたいので時間数を増やしてほしい」という声が多数聞かれた。



(6) メディア技術と私たちの生活

平成19年10月5日(金)～11月9日(金) 全6回

オムニバス形式、責任教員：工学資源学部 教授 玉本 英夫

情報通信技術の進展によって、社会がどのように変わっていくか、インターネット・IP電話といった身近なものから人工衛星や伝統芸能の伝承といった専門的な

分野に至るまで広範囲に取り上げ、解説した。最終回では、手の静脈や口唇の動きを用いた生体認証システムを実際に講師が操作し、受講者の関心を集めた。

(7) 自殺を防ぐために、いま何が必要か

平成19年11月16日(金)～12月21日(金)全5回
オムニバス方式、責任教員：医学部 准教授 佐々木 久長

来年度開講される大学院自殺予防学コースのインテンシブ・コースとして、地域等の自殺対策の専門家を対象に、自殺総合対策の現状と今後の展望を理解し、現場での対策推進に役立てられることを目指し、医学・心理学・法学など様々な領域から学内外の講師が講義を行った。

自殺予防には、官・民・学の連携が不可欠であるが、今回の講座は各領域の実務担当者が相互の理解を図る貴重な場となった。特に、まとめのグループディスカッションでは、今後の自殺対策について県から大学への要望や、組織を超えた取り組みについて等、具体的なアイデアが多く出された。



2. サテライト事業

秋田県内および首都圏へ向けて、秋田大学の教育・研究・社会貢献についての活動状況を発信することを目的として行った。秋田県内では、県南の由利本荘市、県北の能代市でそれぞれ実施した。由利本荘市では初めて秋田県立大学と連携してフォーラム及び講演会を行い、能代市では昨年度に引き続き2回目の開催となり、講演会、子ども向け理科教室、科学技術相談、市民フォーラムを行った。

(1) 秋田大学・秋田県立大学連携事業 in 由利本荘市

期間：平成19年8月24日(金)・25日(土)2日間

1) 技術フォーラム テーマ「精密加工・薄膜成形」

パネリスト

秋田県立大学システム科学技術学部

教授 青山 隆

教授 呉 勇 波

秋田大学工学資源学部

准教授 村岡 幹 夫

准教授 奥山 栄 樹



2) 講演会

挨拶 秋田県立大学長, 秋田大学長

講演「眠りと健康」

講師：秋田大学医学部

教授 清水 徹 男

講演「奥の細道読解—芭蕉の空間を解く—」

講師：秋田県立大学システム科学技術学部 教授 安原 盛彦



(2) 秋田大学出張アカデミーin 能代

期間：平成19年11月9日（金）～11日（日）3日間

1) 講演会

「空から見る能代のことば」

講師：教育文化学部 准教授 日高 水穂

「超高齢社会におけるバーチャルリアリティ応用技術

—熟練技能の保存から高齢歩行者交通事故の防止まで—」

講師：工学資源学部 講師 水戸部 一孝

2) 科学技術相談

担当教員：地域共同研究センター 准教授 鎌田 真一

3) 子どもロボット教室

「みんなで作るべ！最速ロボット！！」

担当教員：工学資源学部

教授 土岐 仁, 助教 秋山 演亮

4) 市民フォーラム

i) 特別講演「骨粗鬆症の対策—今やるべきこと、今すぐできること—」

医学部 准教授 岡田 恭司

ii) 秋田大学関係者と市民との懇談会

学長・理事・各学部長



(3) 秋田大学講演会 in 増田

実施日：平成20年3月30日（日）

講演「秋田の蔵の見方・活かし方」

講師：奈良文化財研究所研究員 黒坂 貴裕

講演「蔵を利用したまちおこしについて」

講師：教育文化学部准教授 島澤 諭



前年度の「秋田大学ウィークin県南」での講演会に続き、横手市増田地区で実施した。地元住民をはじめ、地元商工会や市町村の関係者も数名参加しており、「増田町の蔵を今後どのように活用してまちおこしを進めていけばよいか」などの質問も出ていた。

(4) 東京サテライト教養セミナー

秋田大学東京サテライトオフィスがあるキャンパス・イノベーションセンターを会場として、首都圏に向け秋田大学の教育・研究・社会貢献についての活動状況を発信することを目的として実施した。

1) 「法医学からのメッセージ」

実施日：平成19年4月20日（金）

講師：医学部 教授 吉岡 尚文

2) 「世界一楽しい火山の話」

実施日：平成19年12月5日（水）

講師：教育文化学部 教授 林 信太郎

3) 「極限の直線と円（機械形状の超精密測定）」

実施日：平成20年2月28日（木）

講師：工学資源学部 准教授 奥山 栄樹



3. 秋田メディカル・サイエンスカフェ

秋田メディカル・サイエンスカフェは秋田大学医学部が主催した公開講演会で、最新の医学研究の成果を30分程度で市民に向けわかりやすく解説した。講演会後は参加者の方々と医学部教員が、自由に意見交換をした。

(1) 第1回「節約すると肥満になる？」

実施日：平成19年6月22日（金）

講師：医学部 教授 山田 祐一郎

(2) 第2回「あなたの心臓、規則正しく動いていますか？」

実施日：平成19年9月27日（木）

講師：医学部 教授 尾野 恭一

(3) 第3回「「がん」と言われた時、治療法の説明わかりますか？」

実施日：平成19年12月14日（金）

講師：医学部 教授 山本 雄造

4. 講演会

(1) 講演「秋田が生んだ黄金の工芸品」(林 美光 金銀銅盃目金の世界)

実施日：平成19年5月10日（木）

秋田発祥の工芸品「金銀銅盃目金」の作家であり、世界的に活躍する林 美光氏（秋田市出身）が秋田大学において講演を行った。工学資源学部学生および一般市民が参加し、金銀銅盃目金の技術の紹介と、林氏がその技術を現代に確立するまでの体験を語った。

(2) 秋田県骨髓提供者を募る会総会記念講演会「がん治療のこれから」

実施日：平成19年6月25日（月）

講師：医学部附属病院腫瘍センター長 廣川 誠

秋田県骨髓提供者を募る会との共催により、全国一の死亡率の癌に焦点を当て、白血病や再生不良性貧血、固形癌などの話題を提供する講演会を実施した。秋田大学医学部附属病院の今後の取り組みなどを紹介すると同時に、県民一人ひとりが病気に関心を抱き、血液の癌である白血病の治療への理解を深めてもらう場とした。

(3) 中国甘肅省・秋田県・中国出土資料学会・秋田大学連携特別講演会

「中国文化と日本文化への誘い」

実施日：平成19年12月15日（土）

中国甘肅省・秋田県・中国出土資料学会との連携により、前年度に引き続き秋田大学を会場として実施した。今回は中国の土器や出土文献、日本や秋田における中国文化の影響等について日中の専門家が解説した。

5. その他の活動

(1) 秋田大学子ども見学デー—探検しよう！質問しよう！楽しもう！—

実施日：平成19年8月20日（月）

親子のふれあいを深め、子どもたちの夏休みを広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、大学に対する関心を深めてもらうため、前年度に引き続き秋田大学施設の見学及びコース別体験を実施した。悪天候で一部予定変更したのものも

あったが、子どもたちからは「楽しかった」「また来年も参加したい」という声が多数聞かれた。また、学長室の見学では、学長と参加者との記念撮影を行い、コース見学終了後に参加者全員に撮影した写真を配布し、非常に好評であった。



(2) 秋田大学芸術祭

開催日 美術の部：平成19年9月6日（木）～10日（月）

音楽の部：平成19年9月8日（土）・9日（日）

市民の芸術に対する理解と関心を深めるため、本学芸術分野の教員が、秋田アトリオンにおいて自身の教育・研究成果を披露した。美術分野は5日間にわたり作品展示を、音楽分野は2日間に分かれ「ジャパニーズ・アイデンティティ」と題して作品発表、講演及び演奏を行った。来場者からのアンケートは、「美術作品のレベルの高さに驚いた」「素晴らしい演奏に感激した」などの感想のほか、継続を望む声も多かった。



(3) シンポジウム・企画展

- 1) シンポジウム ミルヴェから秋田の元気を「地方（秋田）の動物園を語る」
実施日：平成19年11月23日（金）

市民と一緒に新たな動物園像を考えることで、地域の活性化を図ることを目指し、秋田市との共催によりシンポジウムを開催した。前半の部では、大森山動物園園長による基調講演及び各専門家と市民代表からの動物園の在り方についての提言があり、後半の部では、来場者とシンポジストによるディスカッションが行われた。

2) 秋田大学学長企画シンポジウム「環境と共生」

実施日：平成19年12月16日（日）

市民に広く環境問題を考えてもらうことを目的として、計7名の講師によるシンポジウムを開催した。「水俣学」を提唱し、多方面から水俣病研究に取り組む熊本学園大学 原田正純教授の講演をはじめとして、各講師が写真や具体的事例を多く取り入れた分かりやすい講演を行った。参加者からの質問や意見も積極的に出され、充実したものとなった。

3) 男鹿水族館 GAO「極地展」

i) 秋田大学 GAO キャンパス～これが極地だ！～

開催期間：平成19年12月29日（土）～平成20年3月31日（月）

実際に極地に行ったことのある本学教員がパネルや映像、南極から持ち帰った石や越冬隊員の防寒具等の資料を提供し、男鹿水族館 GAO 3階展示通路に展示した。



ii) 秋田大学 GAO キャンパス「極地を語ろう」講演会

実施日：平成20年3月23日（日）

講演①「南極の自然，そして動物たち」

講師：教育文化学部教授 井上 正鉄

講演②「シロクマ君たちからのメッセージ」

講師：理事・副学長 妹尾 春樹

講演③「北極圏の生物—スバルバル郡島の動物たち—」

講師：医学部技術専門職員 三浦 光隆

上記企画展の展示内容をより詳しく紹介するために講演会を実施した。

講演では、北極と南極での研究の様子が映像や写真により詳しく紹介された。特に、GAOでも飼育している動物たちの映像は、一般の参加者だけでなくGAOの飼育係の方たちも興味深く説明を聞いていた。



プログラムの最後には、極地での捕鯨経験をもつ地元住民との座談会の時間が設けられ、南極近海の古い写真を紹介しながら和やかな雰囲気うに終了した。

(4) 秋田大学と JAXA 宇宙航空研究開発機構との協力協定締結

平成20年3月21日(金)

宇宙航空研究開発機構 JAXA との間で、「宇宙」を素材とした教育を実施することにより、広い見識を身につけた心豊かな青少年の育成を目指すとともに、それを協働して推進する指導者の啓発を目的とする、宇宙教育活動に関する協力協定を締結した。JAXA が大学と協力協定を結ぶのは初めてである。



JAXA からは的川泰宣宇宙教育センター長が秋田大を訪れ、三浦亮学長をはじめ妹尾春樹副学長、土岐仁ものづくり創造工学センター長ら関係者が出席して調印式が行われた。

協定締結により、宇宙を素材とした教育活動による地域の青少年の健全な育成と、次世代を担う青少年のために教育活動を実施及び推進する宇宙教育指導者の育成等、教育の活性化、宇宙航空研究開発をはじめとした科学技術の発展に大きく貢献するものと期待される。

協力協定締結記念講演会「地域と共に築く、新しい子ども教育」

実施日：平成20年3月21日(金)

秋田大学とJAXA宇宙教育センターが協力協定を締結したことを記念して、子どもや学校教育に携わる教員を対象とした講演会・ロボット教室を実施した。参加者には小・中学生も多く、宇宙教育に関する講演に熱心に耳を傾けていた。プログラムの最後には、「ロボット制作体験教室」も開かれ、大学生の指導のもと、子どもたちが思い思いにブロックを材料にしたロボットを製作していた。



(5) 2007年度鉱業博物館前期企画展「津波の正体にせまる」

開設期間：平成19年7月28日(土)～9月2日(日)

過去の津波と、それらにおける主なまたは新しい研究課題についての展示を行った。また、8月4日(土)には日本大学大学院総合科学研究科の首藤 伸夫氏が「日本海中部地震津波から四半世紀」という演題で講演を行った。

(6) 小中学生の本学訪問への対応

平成19年 5月23日(水) 大館市立第一中学校
平成19年 7月10日(火) 秋田市立明德小学校
平成19年 9月19日(水) 秋田市立城東中学校
平成19年10月18日(木) 秋田市立桜中学校
平成19年11月14日(水) 大仙市立中仙中学校
平成19年12月 6日(木) 湯沢市立須川中学校



秋田県内小中学校の児童・生徒が総合学習の一環として、秋田大学を訪問することが数年前から実施されている。平成19年度は6つの小中学校からの児童・生徒の大学訪問を受け入れ、質問等に答えながら事務職員が学内を案内し子供たちのニーズに対応した。また、児童・生徒からの要望により、研究室を訪問し、教員や学生へのインタビュー等も行った。

(7) 研究室体験学習、実験教室等

工学資源学部の教員が、小・中・高校生向けの体験学習や実験教室を実施した。

1) 平成19年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト

「分子生物学(サマー・オータム・ウィンター)スクール」

実施日：サマースクール 平成19年8月23日(木)・24日(金)

オータムスクール 平成19年9月20日(木)・21日(金)

ウィンタースクール 平成20年1月 6日(日)・ 7日(月)

担当教員：工学資源学部 教授 伊藤 英晃

県内の高校生を対象に、従来の生物学ではなく、分子レベルで生命現象を分析する分子生物学の内容を自分自身が体験することにより生命科学分野に興味を持ち、次世代の研究者、技術者を目指してもらうことを目的に、計3回にわたって実験と講義を行った。



2) 子ども科学教室「おもしろサイエンス—物質あるある探検隊」

実施日：平成19年10月28日(日)

担当教員：工学資源学部 教授 中田 真一

科学の不思議さと楽しさを体験することを通して、理科への興味や関心を増進させたり、親子のコミュニケーションを図ったりすることをねらいとして、身近な現象を題材とした科学実験教室を開催した。

(8) 第42回秋田県小・中・高等学校児童生徒理科研究発表大会（後援）

実施日：平成19年11月10日（土）

小・中・高等学校の児童・生徒が理科にかかわる研究成果について各10分程度の発表を行い、優秀な発表には表彰状が贈られた。また午後の部の後には、秋田大学の教員3名による南極についての講演も行われた。

終わりに

冒頭にもあるように、この2年間は基本的に平成16年度および17年度の活動を継承しつつ、新しい事業もいくつか実施した。

それまでの活動の継承のなかで、県内各地域でのサテライト事業については、能代市からの強い要望により18・19年度と2年連続同市での開催となった。また、横手市増田地区からも講演会開催の要望があり、18年度の「秋田大学ウィーク in 県南」での講演会に続き19年度にも単独での講演会を実施するなど、確実に本機構の活動が地域へ浸透していているものと言えるだろう。特に、公開講座は毎年定期的の開講しており、秋田市近郊のみならず県内各地から受講していただいている。今後も各学部からの協力を得ながら、より充実したものにしていきたい。また、大学開放事業として実施している子ども向けの理科教室や子ども見学デーなどは、参加者数も多く非常に好評である。

新しい事業については、文部科学省による学習コンテンツ流通促進事業、東京会場での教養セミナー、秋田大学芸術祭、学長企画シンポジウムなど、いずれも秋田大学の人的、知的資源を学外に向けて紹介する場となった。また、本学主催の事業にとどまらず、学外の地方自治体等との共催によるシンポジウム講演会、企画展もいくつか実施され、多くの市民の参加を得た。

今後、さらに本機構の事業が地域の方々に認められ、また、役に立つことを願っている。

平成18年度社会貢献事業の実施状況一覧

	事業名	開催時期	参加者数	掲載ページ
公開講座	「古代の日本音楽－日本音楽のあけぼの－」	18. 5. 17(水) ～ 6. 21(水)	27	3
	「よりよい健康のために －見つめてみませんか？あなたと家族の生活習慣を－」	18. 9. 23(土) ～ 10. 14(土)	28	3
	「ドラマ映画にみるイスラエルとパレスチナとの問題」	18. 10. 19(木) ～ 11. 16(木)	13	3
	「認知症ってなあに……家族が認知症になったら－医療現場から－」	18. 10. 25(水) ～ 11. 8(水)	27	4
	「国民統合の象徴としての天皇 －天皇制を通して日本の社会と歴史を検証する－」	18. 10. 31(火) ～ 11. 21(火)	11	4
	「書－その理論と実技を学ぶ－(その2)」	18. 11. 4(土) ～ 12. 2(土)	20	4
	「「異常」気象はなぜ起こる？ －金星の雲, 火星の氷, 地球の海の謎－」	18. 11. 28(火) ～ 12. 19(火)	10	4
	「自殺予防への積極的アプローチ」	19. 1. 18(木) ～ 2. 8(木)	24	5
サテライト事業	秋田大学ウィークin県南	19. 2. 17(土) ～ 2. 20(火)	243	5
	秋田大学出張アカデミーin能代	19. 3. 2(金) ～ 3. 3(土)	198	6
学習コンテンツ流通促進事業	学習コンテンツ流通促進事業「地域からの発信」	10/17(火), 10/24(火), 11/7(火), 12/14(木), 12/21(木), 2/1(木), 2/8(木)	/	6
	学習コンテンツ活用講座 「秋田から地球を観察する－南極大陸との関わり－」	19. 3. 5(月)	22	7
	インターネット公開講座		/	7
専門職セミナー	材料工学セミナー	18. 9. 8(金) ～ 9. 9(土)	18	7
講演会	シルクロード石窟寺院芸術への誘い	18. 12. 16(土)	180	7
その他	秋田大学子ども見学デー 「伸ばそう探求心！大学ってどんなところ？」	18. 8. 21(月)	136	7
	小中学生の本学訪問への対応	5件	74	8
	子ども科学教室「おもしろサイエンス－物質あるある探検隊」	18. 11. 12(日)	50	8
	創造探求型工作教室「第3回ジャンクヤード・バトル」	19. 2. 24(土)	30	8
	体験学習教室「作ってトライ！物理探査」	19. 3. 24(土)	24	9
	2006年度鉱業博物館前期企画展 「石の記憶－ヒロシマ・ナガサキ」	18. 7. 8(土) ～ 8. 20(日)	1615	9
	2006年度鉱業博物館後期企画展 「秋田の活断層と地震災害」	18. 10. 1(日) ～ 11. 30(木)	1783	9
	平成18年度秋田大学自殺予防研究プロジェクト・ワークショップ	18. 7. 15(土)	70	9
	日本南極観測50周年記念事業－南極へ！伝えよう白瀬中尉の熱い思い－「南極のふしぎ2006」(共催)	18. 11. 23(木) ～ 11. 26(日)	4342	9
	第41回秋田県小・中・高等学校児童生徒理科研究発表大会(後援)	18. 11. 18(土)	/	10

平成19年度社会貢献事業の実施状況一覧

	事業名	開催時期	参加者数	掲載ページ
公開講座	「子どものいる世界を知る心理学」	19. 5. 9(水) ~ 6. 20(水)	24	11
	「中世の日本音楽―秘すれば花―」	19. 5. 29(火) ~ 7. 3(火)	30	11
	「格差社会における共生の意義を考える」	19. 7. 9(月) ~ 7. 30(月) ※7. 16(月)をのぞく	14	11
	「不思議な数, 円周率π」	19. 8. 23(木) ~ 9. 13(木)	17	12
	「再認識! 身近な健康」	19. 9. 22(土) ~ 10. 13(土)	29	12
	「メディア技術と私たちの生活」	19. 10. 5(金) ~ 11. 9(金)	10	12
	「自殺を防ぐために, いま何が必要か」	19. 11. 16(金) ~ 12. 21(金) ※11. 23(金)をのぞく	39	13
サテライト事業	秋田大学・秋田県立大学連携事業in由利本荘市	19. 8. 24(金) ~ 8. 25(土)	196	13
	秋田大学出張アカデミーin能代	19. 11. 9(金) ~ 11. 11(日)	167	14
	秋田大学講演会 in 増田	20. 3. 30(日)	100	15
	東京サテライト教養セミナー「法医学からのメッセージ」	19. 4. 20(金)	33	15
	東京サテライト教養セミナー「世界一楽しい火山の話」	19. 12. 5(水)	25	
	東京サテライト教養セミナー 「極限の直線と円(機械形状の超精密測定)」	20. 2. 28(木)	22	
秋田メディカル・サイエンスカフェ	第1回秋田メディカル・サイエンスカフェ 「節約すると肥満になる?」	19. 6. 22(金)	50	15
	第2回秋田メディカル・サイエンスカフェ 「あなたの心臓, 規則正しく動いていますか?」	19. 9. 27(木)	25	
	第3回秋田メディカル・サイエンスカフェ 「「がん」と言われた時, 治療法の説明わかりますか?」	19. 12. 14(金)	20	
講演会	講演「秋田が生んだ黄金の工芸品」 (林 美光 金銀銅壱目金の世界)(共催)	19. 5. 10(木)	190	16
	秋田県骨髄提供者を募る会総会記念講演会 「がん治療のこれから」	19. 6. 25(月)	15	16
	中国甘肅省・秋田県・中国出土資料学会・秋田大学連携特別講演会「中国文化と日本文化への誘い」	19. 12. 15(土)	160	16
その他	秋田大学子ども見学デー ―探検しよう! 質問しよう! 楽しもう!―	19. 8. 20(月)	170	16
	秋田大学芸術祭	19. 9. 6(木) ~ 9. 10(月)	1222	17
	シンポジウム ミルヴェから秋田の元気を 『地方(秋田)の動物園を語る』(共催)	19. 11. 23(金)	200	17
	秋田大学学長企画シンポジウム 「環境と共生」	19. 12. 16(日)	73	18
	男鹿水族館GAO「極地展」 秋田大学GAOキャンパス~これが極地だ!~	19. 12. 29(土) ~ 20. 3. 31(月)	/	18
	秋田大学GAOキャンパス「極地を語ろう」講演会	20. 3. 23(日)	40	18
	秋田大学とJAXA 宇宙航空研究開発機構との協力協定締結	20. 3. 21(金)	/	19
	秋田大学・JAXA宇宙教育センター 協力協定締結記念講演会 「地域と共に築く, 新しい子ども教育」	20. 3. 21(金)	64	19
	2007年度鉱業博物館前期企画展「津波の正体にせまる」	19. 7. 28(土) ~ 9. 2(日)	1175	19
	小・中学生の本学訪問への対応	6件	48	20
	平成19年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト 分子生物学(サマー・オータム・ウィンター)スクール	19. 8. 23(木), 24(金) 19. 9. 20(木), 21(金) 20. 1. 6(日), 7(月)	50	20
	子ども科学教室 「おもしろサイエンスー物質あるある探検隊」	19. 10. 28(日)	50	20
	第42回秋田県小・中・高等学校児童生徒理科研究発表大会 (後援)	19. 11. 10(土)	/	21

【社会貢献企画会議委員】

平成18年度～平成19年度

委員職名	所 属	氏 名	任 期
機構長	理事（社会貢献・国際交流担当）	吉 岡 尚 文	18. 4. 1 ～ 18. 9. 30
		妹 尾 春 樹	18.10. 1 ～ 20. 3. 31
副機構長	医学部 教授（保健学科）	進 藤 伸 一	18. 4. 1 ～ 20. 3. 31
機構長指名教員 （部門員から）	教育文化学部 教授	川 東 雅 樹	18. 4. 1 ～ 19. 3. 31
	教育文化学部 教授	林 信太郎	19. 4. 1 ～ 20. 3. 31
	医学部 教授（医学科）	眞 鍋 求	18. 4. 1 ～ 20. 3. 31
	工学資源学部 教授	金 児 紘 征	18. 4. 1 ～ 19. 3. 31
	工学資源学部 教授	玉 本 英 夫	19. 4. 1 ～ 20. 3. 31
機構長が必要と認めた者	地域共同研究センター 准教授 （産学連携推進機構）	鎌 田 真 一	18. 4. 1 ～ 20. 3. 31
	教育文化学部 准教授	原 義 彦	18. 4. 1 ～ 20. 3. 31
	学長補佐（社会貢献担当）	原 基	19. 1. 25 ～ 20. 3. 31
社会貢献・国際交流室長 （課長）		加 藤 秀 憲	16. 7. 16 ～ 19. 3. 31
		永 井 美 喜 子	19. 4. 1 ～ 在任中
庶務担当 社会貢献・国際交流室（課）			

公開講座ポスター（平成18年度分）

開設期間：5月17日(水)～6月21日(水)
毎週水曜日・計6日間
開設時間：18時30分～20時
(ただし、初日・最終日は20時10分まで)
募集人員：50人(一般市民)
会場：秋田大学教育学部2号館140番講義室
(秋田市手形学園町1番1号)
受講料：6,200円(6回分)
申込期間：4月17日(月)～5月16日(火)
(ただし、土・日曜日及び休日を除きます。)
▽ 定員になり次第締切らせていただきます。
▽ 電話・FAX・Eメールでの申込みも承ります。
▽ 一旦納入された受講料はお返しできませんので、ご了承ください。

講師：
教育学部助教授
武内 恵美子

● 講座日程 ●
第1回：5月17日(水) 出土品が語る音楽—縄文・弥生・古墳時代の音楽文化—
第2回：5月24日(水) シルクロードと日本—国際的な古代日本の音楽文化—
第3回：5月31日(水) 宮中の音楽 伎楽・雅楽—国際的音楽の取捨選択—
第4回：6月7日(水) 貴族の教養 雅楽—平安貴族の教養と遊びとしての音楽—
第5回：6月14日(水) 荘厳な仏教音楽 声明—学問僧の高度な音楽理論—
第6回：6月21日(水) 中世の子歌 今様—白拍子の身分を超えた芸能活動—

平成18年度秋田大学公開講座
古代の日本音楽
—日本音楽のあけぼの—
開設期間：平成18年5月17日(水)～6月21日(水)
<http://labgaimur.jp/>

申込先(問合せ先) / 秋田大学社会貢献・国際交流室
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
TEL: 018-889-2270 FAX: 018-889-3012 E-mail: syakoku@jimu.akita-u.ac.jp
秋田大学ホームページ: <http://www.akita-u.ac.jp/>

平成18年度
秋田大学公開講座

〔講座名〕
よりよい健康のために
一見つめてみませんか?
あなたと家族の生活習慣をー

〔開設期間〕
9月23日(土)～10月14日(土)
毎週土曜日・計4回

生活習慣が私たちの健康に影響することが広く知られています。生活習慣は様々なものから成り立っていますが、どのような生活習慣が健康を維持・増進し、逆に病気を発生をもたらすのを知り、好ましい生活習慣を身につけることはより良い健康のためにも大切なことです。そこで、本講座ではあなたや家族の健康状態を守り高めるための様々なアドバイス、保健医療の専門職が講義(一部実演)を通じてわかりやすくお伝えします。

第1回	第2回	第3回	第4回
期日：9月23日(土) 時間：13:30～16:20 ● 日常生活とストレス 担当：医学部保健学科 講師 山路 真佳子	期日：9月30日(土) 時間：13:30～16:20 ● 女性の健康と生活習慣 担当：医学部保健学科 教授 藤原 ひとみ	期日：10月7日(土) 時間：13:30～16:20 ● 作業療法と予防的アプローチと生活習慣 担当：医学部保健学科 教授 石井 良和	期日：10月14日(土) 時間：13:30～16:20 ● 運動処方：体力良好から衰えたり予備まで 担当：医学部保健学科 教授 稲場 齊
● 生活習慣と依存症 担当：医学部保健学科 助教授 米山 奈奈子	● 中高年男性の生活習慣と健康 担当：医学部保健学科 助教授 佐々木 久長	● 生活習慣と生活時間構造 担当：医学部保健学科 助手 津軽谷 恵	● 眠ってできるケア・エクササイズ—その理論と実践— 担当：医学部保健学科 教授 渡藤 伸一

申込先(問合せ先) / 秋田大学社会貢献・国際交流室 〒010-8502秋田市手形学園町1番1号
TEL:018-889-2270 FAX:018-889-3012 E-mail: syakoku@jimu.akita-u.ac.jp
秋田大学HP: <http://www.akita-u.ac.jp/>

平成十八年度秋田大学公開講座

ドラマ映画にみる
イスラエルとパレスチナとの問題

講師 秋田大学教育学部助教授
三宅良美

開設期間 平成18年
10月19日(木)～11月16日(木) 毎週水曜日・計6日間
開設時間 18:30～20:30 (ただし、初日・最終日は20時10分まで)

主催 秋田大学
共催 大学コンソーシアムあきた
募集人員 50人(一般市民)
会場 カレッジプラザ4人講義室
(秋田市手形学園町1-15 秋田大学2号館2F)
受講料 5,200円(10回分)
申込期間 9月25日(月)～10月16日(水)
(ただし、土・日曜日及び休日を除きます。)
▽ 定員になり次第締切らせていただきます。
▽ 電話・FAX・Eメールでの申込みも承ります。
▽ 一旦納入された受講料はお返しできませんので、ご了承ください。

会場案内図：カレッジプラザ

申込先(問合せ先) / 秋田大学社会貢献・国際交流室
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
TEL: 018-889-2270 FAX: 018-889-3012 E-mail: syakoku@jimu.akita-u.ac.jp
秋田大学ホームページ: <http://www.akita-u.ac.jp/>

平成18年度秋田大学公開講座
認知症ってなあに……家族が認知症になったら
—医療現場から—

〔開設期間〕10月25日(水)～11月8日(水) 毎週水曜日・3日間
〔開設時間〕18:30～20:00 (但し初日・最終日は20:10まで)
〔会場〕秋田大学 A'ファc・ビズc・c'うりc 大セミナー室

第1回 10月25日(水)	第2回 11月1日(水)	第3回 11月8日(水)
認知症とは? —医療機関の利用方法— 講師 医学部 助手 菅原 純哉 研究員 高橋 裕哉 看護員 片岡 忠弘 高橋 伸子 千葉 順子 安部 紀子 佐藤 秀子	「認知症患者との関わり方」 講師 医学部保健学科 助手 津松 祥子 看護員 吉川 聖美 神原 真由 高橋 裕子 岡根 初美 渡辺 蘭子 佐藤 秀子	「地域連携と認知症Q&A」 講師 医学部 助手 菅原 純哉 ケアc 金子 寿太 看護員 佐藤 幸子 岩寺 貴子 岡部 円 葛西 菜緒 石橋岡 京子 佐藤 秀子

※ 講師の都合により、日程・テーマ等が一部変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

主催 秋田大学
募集人員 30名
受講料 5,200円(4.5回分)
申込期間 9月25日(月)～10月24日(火)
▽ 受講料を添えてお申し込みください。
▽ 電話・FAX・Eメールでのお申し込みも承ります。
▽ 一旦納入された受講料はお返しできませんので、ご了承ください。

お問合せ・お申込み：秋田大学社会貢献・国際交流室
〒010-8502秋田市手形学園町1番1号
TEL:018-889-2270 FAX:018-889-3012 E-mail: syakoku@jimu.akita-u.ac.jp HP: <http://www.akita-u.ac.jp/>

平成18年度 秋田大学公開講座



講座名：国民統合の象徴としての天皇 — 天皇家を通して日本の社会と歴史を検証する —

第1回 10月31日(火)
皇位継承をめぐるドラマ
— 初の女性皇太子誕生 —

第2回 11月7日(火)
女性天皇と私田
— 最後の軍曹王・斉明 —

第3回 11月14日(火)
近代日本と天皇
— 近代国家を創る上で天皇はどこまで「主役」であったか —

第4回 11月21日(火)
人文社会科学は天皇制をどのようにとらえてきたか

講師
秋田大学教育文化学部
教授 渡部 育子

講師
秋田大学教育文化学部
教授 中村 裕

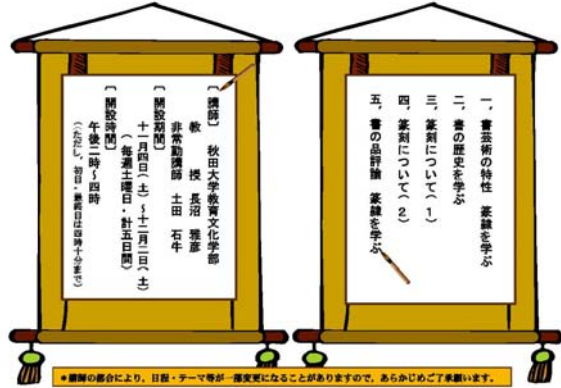
開催期間：10月31日～11月21日
(毎週火曜日・4日間)
開催時間：18:30～20:00
(但し、初日・最終日は20:10まで)

主催：秋田大学
主催：大学コンソーシアムあきた
協賛：秋田県庁(一般市民)
会場：カレッジプラザ 講堂 (秋田市中通2-1-5 明徳館高校ビル2F)
受講料：6,200円(5時間分)
申込期間：9月28日(月)～10月30日(木)(土・日・祝日除く)
▽ 受講料を返金お申し込み下さい。
▽ 定員になり次第締切させていただきます。
▽ 電話・FAX・Eメールでのお申し込みも承ります。
▽ 一旦納入された受講料はお返しできませんので、ご了承ください。

申込先(問合せ先) / 秋田大学社会貢献・国際交流室
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
電話：018-889-2270 FAX：018-889-3012 Eメール：syakokou@imu.akita-u.ac.jp
秋田大学ホームページ：http://www.akita-u.ac.jp/

平成18年度 秋田大学公開講座

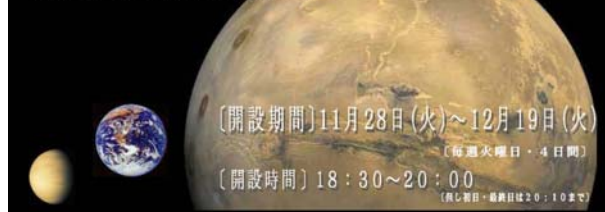
書 - その理論と実技を学ぶ(その2)



主催：秋田大学
協賛：秋田県庁(一般市民)
会場：秋田大学 教育3号館150号講義室
(秋田市手形学園町1-1)
受講料：6,200円(10時間分)
申込期間：9月25日(月)～11月2日(木)
(ただし、土・日曜日及び休日を除きます。)
▽ 定員になり次第締切させていただきます。
▽ 電話・FAX・Eメールでの申し込みも承ります。
▽ 一旦納入された受講料はお返しできませんので、ご了承ください。

申込先(問合せ先) / 秋田大学社会貢献・国際交流室
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
電話：018-889-2270 FAX：018-889-3012 Eメール：syakokou@imu.akita-u.ac.jp
秋田大学ホームページ：http://www.akita-u.ac.jp/

平成18年度 秋田大学公開講座



「異常」気象はなぜ起こる? — 金星の雲、火星の氷、地球の海の謎 —

講師：秋田大学工学資源学部附属ものづくり創造工学センター
助手 秋山 流亮

協賛：秋田大学 VEXI 大セミナー室
(秋田市手形学園町1-1)
受講料：6,200円(6時間分)
申込期間：10月30日(月)～11月27日(月)
(ただし、土・日曜日及び休日を除きます。)
▽ 定員になり次第締切させていただきます。
▽ 電話・FAX・Eメールでの申し込みも承ります。
▽ 一旦納入された受講料はお返しできませんので、ご了承ください。

申込先(問合せ先) / 秋田大学社会貢献・国際交流室
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
電話：018-889-2270 FAX：018-889-3012 Eメール：syakokou@imu.akita-u.ac.jp
秋田大学ホームページ：http://www.akita-u.ac.jp/

平成18年度秋田大学公開講座

自殺予防への積極的アプローチ

【期間】 2007年1/18(木)～2/8(木)
毎週木曜日・計4日間

【時間】 18:30～
【会場】 カレッジプラザ 大講義室
(明徳館高校ビル2F)

講座日程
第1回目：1月18日(木)
18:30～18:40 開講式
18:40～19:40 「秋田県の現状を認識する」
講師 医学部教授 吉岡 尚文
第2回目：1月25日(木)
18:30～20:00 「地域での自殺予防活動の実情」
講師 医学部教授 本橋 豊
第3回目：2月1日(木)
18:30～20:00 「精神科医としての役割と活動」
講師 空松病院院長 稲村 茂
第4回目：2月8日(木)
18:30～19:30 「私たちとしてできる支援活動」
講師 医学部助教授 佐々木 久長
19:30～19:40 閉講式

秋田大学が自殺予防プロジェクトを立ち上げて3年目になります。地域の人々の協力を得て、次第に自殺予防活動の輪は広がりをみせており、秋田県もNPO法人も積極的に活動を展開しています。本講座では、参加者と講師が自殺予防に関する討論をし、ロールプレイをすることにより、悩みを抱えている人への接し方について学びます。



主催：秋田大学
協賛：大学コンソーシアムあきた
協賛：秋田県庁(一般市民)
会場：カレッジプラザ 大講義室
(秋田市中通2-1-5 明徳館高校ビル2F)
受講料：5,200円(5時間分)
申込期間：12月18日(月)～1月17日(水)
(ただし、土・日曜日及び休日を除きます。)
▽ 定員になり次第締切させていただきます。
▽ 電話・FAX・Eメールでの申し込みも承ります。
▽ 一旦納入された受講料はお返しできませんので、ご了承ください。

申込先(問合せ先) / 秋田大学社会貢献・国際交流室
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
電話：018-889-2270 FAX：018-889-3012 Eメール：syakokou@imu.akita-u.ac.jp
秋田大学ホームページ：http://www.akita-u.ac.jp/

公開講座ポスター（平成19年度分）

平成19年度秋田大学公開講座

子どものいる世界を知る心理学

日時 平成19年5月9日(水)～6月20日(水)
18:00～20:00 毎週水曜日 計7回

会場 明徳館ビル2階 カレッジプラザ
小講義室2(最終日のみ小講義室4)

テーマ 子どものころが見えなくなったと言われたけど、子どもが何を感ず、考えているのかを分かろうとする場合、子どもが日々生活しているその世界に見る側の目を置くことが重要です。
本講座では、子どものいる世界への理解を、心理学の諸領域から深めていきます。



○講座日程

第1回目: 5月9日(水) 18:00～18:10 開講式 18:10～20:10 子どもの居場所 -スクールカウンセラーの経験から- 担当 教育文化学部 准教授 小川 幸男	第5回目: 6月6日(水) 18:00～20:00 友人関係からみる現代の子どもとその課題 担当 教育文化学部 講師 清水 貴裕
第2回目: 5月16日(水) 18:00～20:00 「子どもの性」を考える -子どものためにおこなうことができること- 担当 教育文化学部 教授 高田 知康子	第6回目: 6月13日(水) 18:00～20:00 子どもにとっての家庭・家族にとっての子ども 担当 教育文化学部 教授 八巻 美
第3回目: 5月23日(水) 18:00～20:00 子どもの性に関連して起こる問題 担当 教育文化学部 講師 北島 正人	第7回目: 6月20日(水) 18:00～20:00 親子のコミュニケーションから発達を考える1 20:00～20:10 閉講式
第4回目: 5月30日(水) 18:00～20:00 調査データからみる子どもの軌跡 -号とこれから- 担当 教育文化学部 准教授 中野 良樹	(注) 講師の都合により、日程・テーマ等が一部変更になる ことがありますので、あらかじめご了承ください。

- 主催 秋田大学
- 共催 大学コンソーシアムあきた
- 募集人員 30人(一般市民)
- 受講料 7,200円(12時間分)
- 申込期間 4月16日(月)～5月8日(火)
(ただし、土・日曜日及び休日を除きます。)

▽定員になり次第締切いたします。
▽申込は、社会貢献・国際交流課窓口の他、電話・FAX・Eメールでも受付いたします。

申込先(問合せ先) 秋田大学社会貢献・国際交流課 〒010-8502 秋田市平形学園町1番1号
 ■電話: 018-889-2270 ■FAX: 018-889-3012 ■Eメール: syakokujimu.akita-u.ac.jp
 ■秋田大学ホームページ <http://www.akita-u.ac.jp/>

平成19年度秋田大学公開講座

中世の日本音楽 一秘すれば花一

日時 平成19年5月29日(火)～7月3日(火)
18:00～20:00 毎週水曜日 計6回

会場 秋田大学教育文化学部3号館150番教室

講師 秋田大学教育文化学部 准教授 武内 恵美子

テーマ 前回は、縄文時代から平安時代までの古代の日本音楽について行いました。今回は、鎌倉時代から安土桃山時代までの、中世を対象とします。政權が貴族から武士へと変わり、さらに庶民の世界が展開する時代である中世。その時代に花開いた様々な音楽文化を紹介いたします。
一回完結型ですので前回受講されていない方も問題ありません。お気軽にお出ください。



○講座日程

第1回目: 5月29日(火) 18:00～18:10 開講式 18:10～20:10 萬葉集 -白拍子・田楽・平曲舞- 担当 秋田大学 准教授 武内 恵美子	第4回目: 6月16日(火) 18:00～20:00 平曲 -琵琶法師と語り物の神髄- 担当 秋田大学 准教授 武内 恵美子
第2回目: 6月5日(火) 18:00～20:00 民謡 -民謡と語り物の歴史- 担当 秋田大学 准教授 武内 恵美子	第5回目: 6月26日(火) 18:00～20:00 民謡 -民謡と語り物の歴史- 担当 秋田大学 准教授 武内 恵美子
第3回目: 6月18日(火) 18:00～20:00 舞・狂言 -舞狂の美と哀の世界- 担当 秋田大学 准教授 武内 恵美子	第6回目: 7月3日(火) 18:00～20:00 西洋音楽と中世日本 -聖と世俗の精神- 閉講式

- 主催 秋田大学
- 募集人員 30人(一般市民)
- 受講料 7,200円(12時間分)
- 申込期間 4月16日(月)～5月28日(月)
(ただし、土・日曜日及び休日を除きます。)

▽定員になり次第締切いたします。
▽申込は、社会貢献・国際交流課
窓口の他、電話・FAX・Eメール
でも受付いたします。

申込先(問合せ先) 秋田大学社会貢献・国際交流課 〒010-8502 秋田市平形学園町1番1号
 ■電話: 018-889-2270 ■FAX: 018-889-3012 ■Eメール: syakokujimu.akita-u.ac.jp
 ■秋田大学ホームページ <http://www.akita-u.ac.jp/>

平成19年度秋田大学公開講座

格差社会における 共生の意義を考える

中流意識の強かった20世紀後半、21世紀の幕開けが格差社会であることを予測していた人はどれだけいたでしょう。現在、格差をめぐる問題は中央と地方、正社員と非正社員、富裕層と貧困層、そのなかの高齢者と若者などの経済格差を中心に、高校生の学力調査結果にみられる基礎的学力の二極化というようなことにも波及しています。勝ち組・負け組という言葉もよく聞かれます。
しかし、がっかりすることも嘆くこともありません。人は、過去にも計り知れないほどの「格差」を乗り越えてきたのです。現代日本の格差の正体を見極めよう。人生の先輩たちの歩みを振り返ってみよう。そして、格差を是正する方法はないのか、格差があっても支えあえる方法はないのか考えてみましょう。本講座では、経済学と歴史学の視座から格差社会を分析することで、共生へのみちを探ります。

講座日程

7月9日(月)
18:00～18:10 開講式
18:10～19:40 「華やかな奈良の都は「格差」社会」
教育文化学部教授 渡部 育子

7月23日(月)
18:00～20:00 「「格差」の現状と今後の見通し」
教育文化学部准教授 島澤 諭

7月30日(月)
18:00～19:30 「「格差」社会の勝ち組が巻き込まれた悲劇の背景」
教育文化学部教授 渡部 育子
19:30～19:40 閉講式

2007年7月9日(月)～30日(月)
18:00開始
カレッジプラザ大講義室
(秋田市中通2丁目1-51)

- 主催 秋田大学
- 共催 大学コンソーシアムあきた
- 募集人員 30人(一般市民)
- 受講料 5,200円(5時間分)
- 申込期間 6月1日(金)～7月6日(金)
(ただし、土・日曜日及び休日を除きます。)

▽定員になり次第締切いたします。
▽申込は、社会貢献・国際交流課窓口の他、電話・FAX・Eメールでも受付いたします。

申込先(問合せ先) 秋田大学社会貢献・国際交流課 〒010-8502 秋田市平形学園町1番1号
 ■電話: 018-889-2270 ■FAX: 018-889-3012 ■Eメール: syakokujimu.akita-u.ac.jp
 ■秋田大学ホームページ <http://www.akita-u.ac.jp/>

平成19年度秋田大学公開講座

不思議な数、 円周率π

開講期間 平成19年8月23日(木)～9月13日(木)
毎週木曜日 18:30～20:00 計4回

会場 カレッジプラザ小講義室(明徳館ビル2階)

○講座日程

第1回目 8月23日(木)
18:30～18:40 開講式
18:40～20:10 πとカタチ
担当 工学資源学部 准教授 小林 真人

第2回目 8月30日(木)
18:30～20:00 πの値の計算
担当 秋田大学名誉教授 経岡 淳

第3回目 9月6日(木)
18:30～20:00 πと和算
担当 秋田大学名誉教授 経岡 淳

第4回目 9月13日(木)
18:30～20:00 πと確率統計
20:00～20:10 閉講式
担当 教育文化学部 准教授 宇野 刀

不思議な数、円周率πにまつわるいくつかの話をじっくりと掘り下げてみます。そうすればπはユビキタスである、すなわちπは、いつでも、どこでも、誰にでも関係していることが実感できるでしょう。

- 主催 秋田大学
- 共催 大学コンソーシアムあきた
- 募集人員 30人(一般市民、高校・大学生を含む)
- 受講料 0,200円(6時間分)
- 申込期間 7月9日(月)～8月22日(水)
(ただし、土・日曜日及び休日を除きます。)

▽定員になり次第締切いたします。
▽申込は、社会貢献・国際交流課窓口の他、電話・FAX・Eメールでも受付いたします。

申込先(問合せ先) 秋田大学社会貢献・国際交流課 〒010-8502 秋田市平形学園町1番1号
 ■電話: 018-889-2270 ■FAX: 018-889-3012 ■Eメール: syakokujimu.akita-u.ac.jp
 ■秋田大学ホームページ <http://www.akita-u.ac.jp/>



〔講座名〕
「再認識！身近な健康」

〔開設期間〕
9月22日(土)～10月13日(土)

〔会場〕
秋田大学医学部保健学科
総合研究棟第5講義室・実習室

毎日が健康で生活に支障がなければ、連日マスコミを駆使している様々な病気やその治療法については、自分に縁遠いと考えがちです。ところが、私たちは健康をおびやかす様々な状況と隣り合わせにいます。このような状況から身を守り健康を維持・増進する方法や、健康が損なわれた場合の対処方法について知ることはとても大切なことです。

そこで、本講座では健康を再認識するための知識や考える材料を、保健医療の専門職が講義（一部実習）を通じてわかりやすくお伝えします。

第1回 9月22日(土)	第2回 9月29日(土)	第3回 10月6日(土)	第4回 10月13日(土)
13:30～13:40 開講式	13:30～14:45 「イキイカシ」ホームと 健康な生活」 医学部保健学科 助教 阿部 綾	13:30～14:45 「神経系の障害」 医学部保健学科 教授 大友 和 夫	13:30～14:30 「運動を楽しむとき 777」に気づけて」 医学部保健学科 准教授 佐々木 誠
13:40～14:55 「中高年女性の こころ・からだ・性」 医学部保健学科 講師 藤 塚 亜紀子	15:05～16:20 「病は気から-免疫カチア の物見方・考え方-」 医学部保健学科 助教 熊 澤 由美子	15:05～16:20 「脳年齢と生活」 医学部保健学科 准教授 金城 正治	14:50～16:20 「転倒予防体操の基礎から実践まで -体の習得と体操指導に必要な 知識の紹介-」 医学部保健学科 助教 大 澤 諭樹彦 ※実習がありますので、動き やすい服装でお越しください。
15:15～16:30 「生活の中で認知症と 向き合うということ」 医学部保健学科 助教 猪 股 祥子			16:20～16:30 閉講式

■主 催：秋田大学
■募集人員：30人（一般市民）
■受講料：6,200円（10時間分）
■開設期間：9月22日(土)～10月13日(土)
毎週土曜日 計4日間

■申込期間：8月20日(月)～9月21日(金)
(ただし、土・日・祝日を除きます。)
▽定員になり次第締切らせていただきます。
▽申込先：社会貢献・国際交流課窓口の他、
電話・FAX・Eメールでも承ります。

申込先 秋田大学社会貢献・国際交流課 〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
問合せ先 TEL:018-889-2270 FAX:018-889-3012 E-Mail:syakoku@jimu.akita-u.ac.jp
秋田大学HP: http://www.akita-u.ac.jp/

平成19年度秋田大学公開講座 メディア技術と私たちの生活

情報通信技術の急速な進展により、社会におけるメディア技術の果たす役割は重要になって来ています。本講座では、このようなメディア技術の現状を様々な視点でとらえ、私たちの生活がこれらどのように変わっていくかを考えてみたいと思います。

- 第1回 10月5日(金)
18:00～18:10
開講式
18:10～19:40
現代社会とメディア
工学資源学部情報工学科 教授 行 松 健 一
- 第2回 10月12日(金)
18:00～19:30
インターネットで変わる私たちの生活
-映像・音声の通信が生活にもたらすもの-
工学資源学部情報工学科 准教授 五十嵐 隆 治
- 第3回 10月19日(金)
18:00～19:30
宇宙から地球を見る
工学資源学部情報工学科 准教授 景 山 陽 一
- 第4回 10月26日(金)
18:00～19:30
進化する「ドット」・IT技術の使われ方
-IP電話からITによる農業支援まで-
工学資源学部情報工学科 准教授 橋 本 仁
- 第5回 11月2日(金)
18:00～19:30
匠の技をどのようにして伝えるか
工学資源学部情報工学科 教授 玉 本 美 夫
- 第6回 11月9日(金)
18:00～19:30
生体認証システムについて
-40人の顔のデータベースをアリババから守るには...-
工学資源学部情報工学科 教授 西 田 眞
閉講式



2007年10月5日(金)～11月9日(金)
秋田大学工学資源学部
5号館(情報工学科)101講義室

●主 催 秋田大学
●募集人員 30人（一般市民）
●受講料 6,200円（9時間分）
●申込期間 8月20日(月)～10月4日(木)
(ただし、土・日・祝日を除きます。)
▽定員になり次第締切らせていただきます。
▽申込先は、社会貢献・国際交流課窓口の他、
電話・FAX・Eメールでも承ります。

申込先(問合せ先) 秋田大学社会貢献・国際交流課 〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
電話：018-889-2270 FAX：018-889-3012 Eメール：syakoku@jimu.akita-u.ac.jp
■秋田大学ホームページ http://www.akita-u.ac.jp/

平成19年度秋田大学公開講座 自殺を防ぐために、いま何が必要か

秋田大学では、今年度より、大学院レベルの自殺予防学コースの開講を目指すことになりました。そこで平成19年度は、インテンシブ・コースとして、地域等の現場で自殺対策に関わっている実務の専門家を対象に、自殺総合対策の現状と今後の展望を理解し、現場での対策推進に役立つことが出来ることをめざしてこの講座を開催いたします。

期間：平成19年11月16日(金)～12月21日(金)
11月23日(祝)を除く 毎週金曜日
計5回
時間：15:00～17:00
会場：カレッジプラザ(明徳館ビル2階)
受講料(資料代)：6,200円



募集人数
30人

(保健師・行政担当者・ボランティア)

- 第1回 11月16日(金) 自殺対策基本法と大綱を理解する
- 第2回 11月30日(金) 地域の自殺対策の実態を知る
- 第3回 12月7日(金) 自殺対策の新たな方向性を理解する
- 第4回 12月14日(金) 医学的側面から自殺行動を理解する
- 第5回 12月21日(金) 今後の自殺対策のあり方を考える

■申込期間 10月22日(月)～11月15日(木)
■申込・問い合わせ先
秋田大学社会貢献・国際交流課 〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
電話：018-889-2270 FAX:018-889-3012 E-mail:syakoku@jimu.akita-u.ac.jp
ホームページ http://www.akita-u.ac.jp/

主催/秋田大学 共催/大学コンソーシアムあきた 会場/カレッジプラザ(秋田市中通2-1-51)

○アンケート集計結果について

2年間のアンケート結果をまとめた。

1. 受講者の年齢・性別・職業について

受講者は40代から60代にかけての年齢層の方が半数以上を占めた。また、女性の受講者が男性の受講者の2倍以上であった。

また、職業は公務員や団体職員あるいは無職の方が多かった。特に平成19年度は子どもの教育に関わる仕事や自殺予防に取り組む仕事の方の参加が多く、より専門的な知識を求めて受講される方が多かったようだ。

2. 受講した目的

「講座内容に魅力があるため」「教養を高めたいため」など、生涯学習として受講される方も多いが、その一方で「仕事・実生活に活かすため」という回答も多かった。大学の公開講座に求められているものが、教養としての講義だけでなく専門知識の再学習としての講義でもあるようだ。

3. 公開講座を何で知ったか

半数近くが「郵送・Eメール」であり、複数回受講してくださる方が多いことがわかる。新聞や公共施設に掲示したポスター・チラシといった回答も多く、各関係機関への広報活動も効果をあげているようだ。

また、広報あきたへの掲載回数は全講座数の半数以下だったが、広報あきたを見て申し込まれた方が平成18年度は4名、平成19年度は6名と、宣伝効果が高いようである。

4. 講座の内容について

「とても良かった」「良かった」をあわせると80%以上を占め、「あまり良くない」「期待はずれ」の回答はほとんど無く、大多数の方に満足していただけたようだ。自由記入欄の感想を見ても、「専門的な話を聞くことができて良かった」「仕事でさっそく実践してみた」といった受講者の職業に直結する内容に対しての満足度が高い一方、「難しいと思っていた内容が興味を持って聞くことができた」「普段見ることのできない資料・映像や最先端の技術に触れることができてよかった」といった受講者の興味・関心を高めたという感想も多くあった。しかし、中には「講義のレベルが高すぎる」「時間が短く物足りない」「もっと具体的な例を挙げてほしかった」という意見もあった。

5. 受講料について

約80%の方が「ちょうどよい」と回答しているものの、「高い」という回答も20%近くある。



秋田大学社会貢献推進機構活動報告

(平成18～19年度)

秋田大学社会貢献推進機構編集・発行

平成20年3月

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

Tel 018-889-2270

Fax 018-889-3012

E-mail syakoku@jimu.akita-u.ac.jp

